国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づく研究の情報公開文書

- 研究課題名

「より効果的な臍帯血幹細胞治療を目指した臍帯血研究
－ 大阪市立大学大学院医学研究科による多施設研究 －」

- 研究責任者（所属・役職）

安居　輝人（ワクチン・アジュバント研究センター・感染症制御プロジェクト・プロジェクトリーダー）

- 他の共同研究機関及び各研究機関の研究責任者

研究の主導: 大阪市立大学（濱崎　考史）
共同研究機関: 日本赤十字社（木村　貴文）

- 本研究の目的

赤ちゃんとお母さんをつなぐ臍帯から得られた血液である臍帯血は、異種免疫反応（いわゆる拒絶反応）を起こしにくく、少量でもさまざま難病への幹細胞治療効果が高いことが知られています。ただ、臍帯血は数が少ない上、有効な因子や個体差について十分に解明されていません。この臨床研究では大阪市立大学及び日本赤十字社と協力し、まだ十分に分かっていない臍帯血の有効因子やその個体差を探ることで、より治療効果の高い臍帯血を将来患者さまへ効率よく提供することを目指しています。そのため、我々は提供いただいた臍帯血および日齢0、1の末梢血を用いてプロテオーム解析を行います。得られた結果は、共同研究機関で得られた他の解析データを踏まえ、相関性を評価することで治療効果の高い臍帯血を迅速に規定します。本研究の成果は、臍帯血を必要とする難病治療への大事な土台になるとともに、再生医療の発展にも貢献すると考えられます。

● 研究実施期間

承認日より2025年3月31日

● 研究の方法

・ 研究対象者

大阪市立大学医学部附属病院で出生され、小児科管理を行った赤ちゃん

・ 試料の項目

試料：臍帯血（日本赤十字社近畿ブロック血液センターより提供される臍帯血は分離上清）、末梢血

・ 研究方法の概要

出生直後の臍帯血と新生児末梢血から血漿を分離し、それら血漿を用いて時系列のプロテオーム解析を行います。その結果、経時的に変動するタンパク質を同定します。

● 試料・情報の提供の有無並びに提供方法

・ 他機関への試料・情報の提供はありません。

● 個人情報の取り扱い

・ 本研究では個人情報を取り扱いません。

● お問い合わせ先

国立研究開発法人　医薬基盤・健康・栄養研究所
ワクチン・アジュバント研究センター
感染症制御プロジェクト
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
電話：072-641-9902
E-mail: rotsibo@nibiohn.go.jp
担当者氏名：大坪　亮太（プロジェクト研究員）